Gakusei Tantousha Hou

学生担当者報 -Vol.352- 6

発行／天理教学生担当委員会　発行責任者／吉川万寿彦　編集責任者／松村孝吉
[TEL]0743-63-1511（内線5817）（直通）0743-63-2489　[FAX]0743-62-5780
[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp　[TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp
立教179年
平成28年5月25日発行

大会に参加した高校生を学修へ

学生生徒修養会部　委員
濱　善剛

「教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会」の式典直前、私は誘導係として、本部中庭へ入場してくる学生達の流れを廻廊から見ていました。その長蛇の列が、第一食堂辺りまで伸びたとき、式典開始までに全員着席できるだろうかと心配しながらも、学生達の凄まじいエネルギーを肌で感じていました。

偶然通りかかった本部員先生からも、「一万人いったやろ」と声をかけていただき、もしかしてと胸が躍りました。それと同時に、こうして多くの先生方が『一万人』という目標を心にかけて下さっていたからこその、今日この日なのだと胸が熱くなりました。結果としては一歩及びませんでしたが、過去最多の参加学生数のご守護をお見せいただきました。当日の真柱様のお言葉に、

「いまの時期にあるからこそ、教えを学び、考える順序を学び、心の治め方を学んで実践を重ねて、親神様の思召に基づく心の根を太らせることに努めてほしいと思います。（中略）皆さんの周りには、育つ手助けをしてくれる人や場所が必ずあります。」

とお示し下さいました。学生に向けてのお言葉であると同時に、彼らが育つための手助けとなること、育つ場所へと導くことが、学生担当の御用をいただく我々の使命であるとお仕込みいただいたようにも思います。

私には十五歳目前の中学三年生の息子がいます。

「さあさあ小人々々は十五才までは親の心通りの守護と聞かし、十五才以上は皆めん／／の心通りや」

（M21・8・30）

とお教えいただくように、これからは彼自身が信仰に目覚め、自らの足で歩み始める大切なターニングポイントに差し掛かろうとしている今、親としてできることの微力さを感じずにはおられません。

このたびの学生おぢばがえり大会に、中学三年生千三百九十八名、高校生四千三十一名が参加してくれました。参加できなかった学生も含め、お道を通る上でとても貴重な時間を過ごしている彼らが、「親神様の思召に基づく心の根を太らせる」ためには、おぢばで仕込んでいただく以上のことはありません。

学生担当者としてすべきことは沢山ありますが、まず高校生達には、目前に控えた「学生生徒修養会　高校の部」へ、親神様、教祖がお待ち下さっているおぢばへお導きいただけるよう力を尽くすことが、私達学生担当者に課せられた使命であると信じています。

立教179年 学生担当委員会 活動方針　『次代を担うようぼくへと丹精しよう』

人事

《立教179年4月25日付》

【教区学生担当委員長辞令交付】
・笹田弘行（北海道教区）
・山本道広（宮城教区）
・三ツ井倉三（秋田教区）
・老沼育正（栃木教区）
・番場　努（群馬教区）
・味美廣規（福井教区）
・宮田幸一郎（大阪教区）
・吐前政夫（和歌山教区）
・赤沢　勤（岡山教区）
・村田眞也（香川教区）
・谷田善貴（高知教区）
・門田　治（福岡教区）
・長瀬雅信（熊本教区）
・梅本　杜（宮崎教区）

【直属学生担当委員長辞令交付】
・狩野勇生（日本橋・六日町）
・松井洋三（明城・順明）
・北條道也（阪東・瑞氣）
・大舘英雄（秩父・日東）
・周田一正（防府・三田尻）
・守屋清太郎（府内・美也古）
・酒井耕平（西成・成國）
・鈴木道教（小南部・北市川）
・刈谷智之（越知・砥部）

業務記録

《立教179年4月16日～5月15日》

4月20日　事務局連絡会
22日　『Happist』納品・梱包
　屋外プログラムチーム会議
23日　要員育成室春合宿（～24日）
24日　屋外まなびば研修会
　スタッフ事前研修会（～25日）
　学生連絡会
　要員育成室会議
25日　委員会　例会　広報室会議
　担当者活動部部会
26日　まなびば担当者研修会
　出版部部会
　学修部部会
27日　人材育成部部会
5月3日　第53期天理教学生会委員総会（～5日）
8日　屋内プログラムチーム会議
10日　屋外プログラムチーム会議
12日　学修部部会
13日　委員会
　まなびば研究室会議
　要員育成室会議
　出版部部会
　学生部部会
　学修部部会
14日　委員会
　学修高校の部研究室会議

TSA
http://tsa.tenrikyo.or.jp

座談会
「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」を終えて
「学生生徒修養会 高校の部へと導こう」

杉﨑健治
【すぎさき けんじ】
日野大教会
学生担当委員長

秋岡文夫
【あきおか ふみお】
西宮大教会
学生担当委員長

司会(片山学修部部長)：今回、大会に参加してくれた学生に、今後どのように育ってもらいたいとお考えですか？

秋岡：初参加者にはまずは空気に馴染んでもらい、これまでも参加してくれている学生には、やはり教会につながるよう育ってもらいたいです。

杉﨑：何と言っても学生ですからね(笑)。「おぢばっていいな」「おぢばに来て良かったなぁ」と思ってもらいたいと願っています。とにかく、今後お道が好きな子に育っていただきたい。

司会：育成の場の一つに「学生生徒修養会 高校の部」がありますが、どのように捉えていますか。

秋岡：おぢばという素晴らしい空気の中で、生徒たちがお育ていただいている場所と認識してます。同じような立場の者が友達になって帰ってくるというのが、「学修 高校の部」の大きな魅力だと思いますね。それで先程、杉﨑先生がおっしゃっていた「おぢばが好きになる」と「お道、天理教を好きになる」というのは、教会で実践しようと思った時に、そういった仲間がいればいいんですが、一人や二人しかいない教会で、となるとなかなか大変です。学修にしかできないことと思います。学修に行くと、「おぢばやお道が好き」とまでは言えるか分からないが、ほとんど良い印象で帰ってきてくれる。そしてまた、「次も参加したい」とほぼみんなが言いますね。「もう次は参加したくないです」と言う学生は聞いたことはないですね。

司会：学校の友達には話せない悩みを、学修で知り合った友達には話せるということをよく耳にすることがあります。

杉﨑：学修に行ったことのある学生たちは、もれなく一〇〇％喜んで帰ってきます。なぜそんなに喜べるのか、中に入って覗いてみたいなと思いますね(笑)。

秋岡：自分の子どもにもなかなか仕込むことができないのに、それがわずか一週間で変わって帰ってくるのは、教祖のおかげだと、感謝してもしきれずにおります。高校の部にしても大学の部にしても、学修というのは行ってみて初めて分かるもの。これからもどんどんお知らせすることに努力していきたいと

思います。

杉﨑：今の子供たちは大勢で泊まるなどの経験がないので、こういう素晴らしい環境での生活を通して、徐々に大人になり、いろんなことを感じているんだろうなと思います。ほんと覗きたい(笑)。

司会：「かわいい子には旅をさせろ」と言いますが、かわいいからこそ「おぢば、学修へ」と旅をさせてあげたいと思います。

では、次に「学修 高校の部」にまつわる喜びのエピソードなどがあれば教えて下さい。

杉﨑：ある女の子がいとこに学修に誘われ参加しておぢばを好きになり、そして、二回目参加したら保育士になりたい、白梅寮に行っておぢばで学びたいと決め、さらに三回目の参加で両親が止まっていた別席を運び始めてくださり、本当に学修は有難く、凄いですよね。

秋岡：子供の成長する姿を通して影響を受けたということですね。

杉﨑：そうです。学修に行っておぢばを好きになって、三回も参加して、別席も運んでようぼくにならせていただいて、本当に有難いことです。しかし、白梅寮はよく行ったなと思います(笑)。それに影響される学生もまた出てくるでしょうね。

秋岡：学生会から学修へ、そして「おぢばの学校へ行きたい」と思い、白梅寮へ進んだんですね。

司会：続きまして、大会参加者(大会時中学3年生含む)がもれなく「学修 高校の部」を受講してもらうために、どのような働きがけが考えられますか。

秋岡：参加してくれた学生の住所や電話番号はあるので、募集要項を送ったり、配ったり、声掛けをします。教会の子女とかは、今度学生会行事がありますので、学修に参加した先輩たちから高校の部の良さなどを思いっきり吹き込んでもらおうかと思います。

杉﨑：あたりまえのことをやるしかないと思います。大会の熱が冷めないうちに、参加者には集合写真などを手書きのお礼状に添えて送る。そしてもちろん、出してくださった教会にもお礼状を送る。しばらく経ってからだと、「え、なんやった？」となるので。また、去年から、夏の学修が終わる十五日に、わかぎ(中学三年生)を対象に、学修の紹介ビデオを見て、学修を終えたばかりの学生たちと一緒にご飯を食べる機会を設けています。次に学修に参加してほしい子に学修参加者の生の声を聞いてもらい、わいわいしながら雰囲気を味わってもらい、「学修に！ 学修に！」と。

秋岡：写真を送るっていいですね。(笑)

杉﨑：ほんといいですよ。大教会などに全体の集合写真を貼って、あの時の感動を思い返してもらって、「楽しかったなー」と思ってもらえますからね。

司会：今年度の活動方針にも重点項目に「大会参加者を『学生生徒修養会』へと導こう」と掲げさせていただました。大会に参加できなかった生徒ももちろんですが、大会参加者の顔を今一度思い浮かべて、さらなる成人の場である学修への声掛けを頑張りましょう。本日は誠にありがとうございました。

立教179年
学生生徒修養会　高校の部

親里ぢばは人類のふるさと。ここでの合宿生活を通して、全国から帰り集う多くの友と語り合いたすけ合う。陽気ぐらしの教えを学び、いろいろな行事の中で自らの心を見つめ、人をたすける心を育てる場所。きっとキミの人生にとって、大きな意味を持つ１週間になるにちがいない。

募集要項

期　　間	平成28年 8月9日(火)～8月15日(月)
受講対象	高等学校に在学し、全期間受講できる者。 （親里管内については天理高校第１部の自宅通学生に限り受講可能です。） ※受講回数によって1回生、2回生、3回生に分かれます。
募集人員	2,000名（男子 1,000名、女子 1,000名）
内　　容	☆レクチャー　☆ひのきしん　☆おてふり・鳴物練習　☆神名流し（3年生のみ） ☆レクリエーション　☆グループワーク　☆感話大会　☆みんなのつどい など ※期間中に別席を1席運べる日を設けます。
受付日時	8月9日(火)　午前9時30分から10時 各詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合してください。
解散日時	8月15日(月)　午前10時30分（予定）
受講御供	8,000円　各詰所(各直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み

申込方法	下記書類をととのえ、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。 ・受講願書　1通 ・返信用封筒　1枚（保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付ください）
申込期間	平成28年 5月25日(水)～7月25日(月)まで（郵送の場合も7月25日必着） ※事務処理の関係上、願書はなるべく7月18日までに提出してください。

※受講願書は各学生担当委員会、各教務支庁にあります。

※受講にあたっての詳細及び必要事項は書面にて7月10日以降、随時保護者宛てに郵送いたします。
また、7月10日以降はTSA websiteでも詳細、必要事項の確認ができますのでご利用ください。

問い合わせ先

天理市守目堂町213-4　おやさとやかた真南棟3階　学生担当委員会事務局
［郵便］　〒632-8790　天理郵便局私書箱1号
［電話］　0743-63-2489(学生担当委員会事務局直通)/ FAX 0743-62-5780

主　催…天理教教会本部　　事務局…天理教学生担当委員会

第五十三期 天理教学生会 委員総会 開催報告

五月三日から五日にかけて、第十二母屋、東右第一棟を会場に、「第五十三期天理教学生会委員総会」を開催し、学生百九十七名（教区三十一団体七十八名、直属二十八団体四十七名、スタッフ七十二名）が参加しました。

初日は開会式、ウォーミングアップなどの後、「教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会」で頂いた真柱様のお言葉を振り返り、今、学生に求められていることについて考えました。

二日目は、主に「第五十三期天理教学生会活動方針」について話し合いが行われました。初めに、第五十三期学生会委員長中村勇一君が「仲間とたすけあい、支え合って共に成人しよう」との活動方針（六、七ページ）について説明し、今期の意気込みを語りました。その後、質疑応答や審議が行われ、全ての団体賛成で可決となりました。

最終日の朝には、典日分教会長増田正義先生より、「かしもの・かりもの」について講話を頂きました。信仰をする上での心の置き所について、先生の体験も交えたお話に、学生たちは熱心に耳を傾け、涙ながらに聞き入る姿も多く見られました。学生たちは改めて教えの素晴らしさを感じ、今後の歩みの上に大きなお土産を頂きました。

その後、今期の大きな活動である「道の学生　教会につながるＤＡＹ」、「道のひのきしんＤＡＹ」について話し合い、教区・直属が連携を取り、活動を進めていくことを確認しました。

午後からは、学生担当委員会吉川委員長より講話がありました。吉川委員長は、学生おぢばがえり大会を振り返り、学生たちに労いの言葉をかけつつ、大会を終えたこれからの、普段の通り方の大切さを訴えました。

最後に、閉会式において学生会中村委員長が、「教祖百三十年祭、教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会を終えたこれからが大切。つながりを大切にして、お互いたすけ合い支え合って一緒に頑張って行こう」と呼びかけをし、全ての日程が終了となりました。

天理教学生会では、学生おぢばがえり大会に向かう中でできたつながりを大切にして、お互いにたすけ合って、道の次代を担うよぼくの姿に近づけるよう活動を進めていきます。一年ごとにリーダー層も変わり、毎年度新たなスタートを切る学生会ですが、今後も学生たちのいきいきとした活動の場、共に育つ場となるよう、ご支援、ご丹精をお願いいたします。

第五十三期天理教学生会活動方針

仲間とたすけあい　支え合って共に成人しよう！

一、親神様の思召に近づこう
○「かしもの・かりもの」の教理を学ぼう

一、つながりを大切にしよう
○心を配ろう
○理づくりをしよう
○「道の学生　教会につながるＤＡＹ」の推進

仲間とたすけあい　支え合って共に成人しよう！

「教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会」式典での真柱様のお言葉の中で、「お道でいう成人とは、人間が親神様の思召に近づいていくことをいいます。」また、「教えを実行し、親神様の思召に近づく努力を重ねることにより、私たちの成人は進んでいくのであります。」とお話しくださっています。「教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会」につながった仲間、また、これから出会う仲間たちとたすけあい、支え合って共に成人していきましょう。

一、親神様の思召に近づこう

親神様は、人間が陽気ぐらしをするのを見て、共に楽しみたいとお望みになられ、人間をお創りくださいました。その思召を知り、深めていくことで、親神様の思召に近づいていくことができます。親神様の思召に近づこうと努力し、道の次代を担うようぼくへと共に成人していきましょう。

○「かしもの・かりもの」の教理を学ぼう

親神様の思召に近づく為に、特にお道の中で根本的な教えといわれている「かしもの・かりもの」の教理を学んでいきましょう。その方法として、教理勉強会や談じ合い、先生のご講話などがあります。この教えを学んでいくことで、生かされていることや、身の回りにあるものは親神様からお与えくださっているものであると気づき、感謝することができます。この教理をしっかり心に治められるよう、活動の中で共に学んでいきましょう。そして、日頃から意識し通ることで共に成人させていただきましょう。

一、つながりを大切にしよう

私たちの身の回りにはたくさんのつながりが存在しています。教会や教会の人たちとのつながり。また学校の友達や、家族、そして「教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会」で出会ったたくさんの仲間などです。これらのつながりは、親神様が私たちのために与えてくださったものです。一つひとつ大切にしていきましょう。

○心を配ろう

互いにたすけあい、支え合って成人させていただく為には、仲間同士で心を配り合うことが大切です。例えば些細な声掛けや気配りなどです。「教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会」につながった仲間、またこれから出会う仲間につながっていただけるよう心配りをさせていただきましょう。

○理づくりをしよう

私たち人と人、人と場所を親神様がつないでくださります。会員さんや仲間に心を配らせてもらうだけでなく、親神様に働いていただけるよう、理づくりをさせていただきましょう。例えば、学生活動の場合では、行事前のおつとめやひのきしんなどです。それだけではなく日頃から理づくりをさせていただきましょう。どんな小さなことでも感謝の心でさせていただくことで親神様は、きっと受け取ってくださいます。

○「道の学生　教会につながるＤＡＹ」の推進

次代を担うようぼくへと成人していく上で、将来の活動の拠点である教会につながることは大切です。真柱様のお言葉の中でも「今、皆さん方は学生生活を生かして成人していく段階であり、その成人の手助けとなるのが、教会や学生会の活動であります。」とお話しくださっています。そこで教会につながるきっかけの一つとして、「道の学生　教会につながるＤＡＹ」を推進していきます。「道の学生　教会につながるＤＡＹ」とは、「進んで教会につながろう」をテーマに、学生活動として直属教会に参拝する日のことです。これを通して、同じ教会につながる人に出会え、この先も教会につながりやすくなります。

まなびば担当者研修会　開催報告

四月二十六日午後より、本部第十二母屋を会場に「まなびば担当者研修会」を開催しました。この四月より新たにまなびば担当者として任命を受けた方、前期に引き続き務められる方など、十六教区より十九名のまなびば担当者が参加しました。

ウォーミングアップ、開講式に続き、まなびばの歴史、まなびば担当者の役割、屋内まなびばプログラムについて、屋外まなびばプログラムについての説明がありました。

その後、二名の体験発表が行われ、山口教区まなびば担当者の宮木伸さんからは、「参加者の変動が多いまなびばでは、参加人数にとらわれず、長い目でまなびばに携わっている。」「参加対象者である高校生は青年会員や女子青年会員であることから、以前より教区の青年会には、まなびば開催時にスタッフとして携わってもらってきた。そして、今年度は、教区学生担当委員会ではなく、教区青年会主導でまなびばを開催してもらう。」との話をしていただきました。

また、愛媛教区学生担当委員長、森貴宏委員長からは、「まなびばのプログラムを教区の主事先生や支部長先生に体験してもらい、まなびばの良さ、効果、受講後の成果を身に感じてもらっている。それによって、案内をしてもらう時の声の掛け方が変わり、参加者が増えた。」などの話がありました。

その後、三つの班に分かれてのねりあいでは、体験発表を聞いての感想やそれぞれの教区でのまなびば開催の現状について意見が交わされました。

最後に、閉講にあたっての吉川万寿彦委員長の挨拶では、「まなびば担当者の皆さん方が、しっかりと教会に繋がり、まなびばに参加した高校生達を、その後も行事や活動を通じて教会に繋がるまで丹精していただきたい。」と思いを伝えました。

「まなびば」開催会場一覧　《６月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
栃木	6月4日14時～5日14時30分	教務支庁	本田	
三重	6月4日13時～5日14時30分	教務支庁	井上	
奈良	6月4日13時30分～5日15時	敷島詰所	梅本	
岡山	6月4日13時～5日15時	教務支庁	梅原	
埼玉	6月11日14時30分～12日15時	教務支庁	和泉	
滋賀	6月11日13時～12日14時	日野大教会	橋本	
山口	6月11日10時30分～12日15時	国立徳地 青少年自然の家	宮木	
大分	6月11日13時～12日15時	教務支庁	矢野	
宮崎	6月18日13時～19日14時30分	此富分教会	梅本	

☆実施計画書は２ヵ月前までにご提出ください。

青　空

おぢばでの御用に就かせていただいて四年目を迎え、改めてこれまでの自分の通り方をふりかえると、学担事務局に配属となったものの、日々喜んで通ることができていたかといえば、そうとは言い難いくらいに不足の心を積み重ねていたように思えて、ただただ申し訳ない限りである。

「人事は神事」とよく聞かせいただいてきたが、四月からやかた管理室へ部署異動となり、教祖百三十年祭の年に新たな御用をお与えいただいた。そこに込められた親神様の思いを考えさせていただいている中で、おふでさきの一首に、

をやのめにかのふたものハにち／／に
だん／／心いさむばかりや
（第十五号　六十六）

というおうたがあることを思い出した。

おぢばで伏せ込む者として、また一人のようぼくとして、おぢばに帰られた方々を、勇んでお迎えさせていただくことを日々の心定めとして通らせていただこうと、改めて思わせていただいている。

学生担当委員会事務局元局員　佐瀬一徳

教祖130年祭　こどもおぢばがえり　学生ひのきしん隊

陽光やわらかくふりそそぎ、こどもおぢばがえりの季節が近づいてきました。

さて、本年は７月２５日から８月６日まで、こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊を結成します。学生ひのきしん隊では、全国各地からおぢばへ帰ってくる子どもたちの受け入れひのきしんをさせていただきます。子どもたちに少しでも喜んでもらえるように勤めさせていただきますので、一人でも多くの学生に呼びかけをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

≪　募　集　要　項　≫

【目　　的】　ぢばへの伏せこみ

【内　　容】　わかぎおぢばひのきしんカウンセラー、廻廊ひのきしん受け入れなど

【対　　象】　高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生

【期　　間】　前　　期　　7月25日（月）～7月31日（日）
後　　期　　7月30日（土）～8月6日（土）
特別期間　　7月29日（金）～8月1日（月）
※ 前期･後期に参加できない方は特別期間を設けておりますので、そちらにご参加ください。

【受付時間】　前期・後期・特別期間とも13時（予定）

【解散時間】　前期　午前11時、後期　13時、特別期間　17時（いずれも予定）

【募集定員】　前期　70名、後期　70名、特別期間　50名

【参 加 費】　前期・後期・特別期間　1,000円、全期間　2,000円
※ いずれも当日お持ちください。

【宿　　舎】　旧大森町詰所

【主　　催】　天理教学生会

【後　　援】　天理教学生担当委員会

≪　申　し　込　み　・　問　い　合　わ　せ　先　≫

天理市守目堂町213-4　おやさとやかた真南棟3階　天理教学生会

（郵　便）　〒 632-8790　日本郵便天理支店私書箱1号　　天理教学生会

（電　話）　0743-63-1511（内線5820）
※ 17時30分以降は0743-63-2489（学生担当委員会）

（ＦＡＸ）　0743-62-5780

○ 詳しくは、天理教学生会 website に掲載しておりますので、そちらを御覧ください。
website URL: http://tsa.tenrikyo.or.jp

お知らせ

六月例会

・期日　立教179年6月25日
・時間　15時半受付　16時開始
・場所　教庁4階講堂

学生層育成者講習会 日程・会場案内

【教区】
・岐阜　6月30日9時30分～　教務支庁
・日野　6月22日11時45分～　大教会
・鹿島　6月22日11時30分～　大教会
・芦津　6月23日12時15分～　大教会
・城法　6月23日12時20分～　大教会
・西宮　6月23日12時～　大教会
・中野　6月23日12時～　大教会
・櫻井　6月24日12時～　大教会
・神崎　6月24日12時～　大教会
・生駒　6月24日11時30分～　大教会

【直属】
・本理世　6月6日13時15分～　大教会
・熊本　6月19日12時～　大教会
・愛静　6月20日11時45分～　大教会
・玉島　6月20日12時～　大教会
・山陽　6月21日11時30分～　大教会
・名京　6月22日12時～　大教会
・飾東　6月22日11時30分～　大教会
・東愛　6月22日11時15分～　大教会
・本島　6月22日11時30分～　大教会

報告

四月例会

去る4月25日、教庁4階講堂に於いて「四月例会」を開催。出席は39教区、122直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】
・愛知　4月30日　教務支庁　47名　深谷委員出向

Happist７月号　予告

［特集］ 青春18きっぷで行こう！　インタビュー　鉄道ジャーナリスト　中嶋 茂夫

※内容は一部変更になる場合があります。

連載

・教理コーナー
明日を展くをやの言葉　佐藤 浩司（天理大学名誉教授）

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　山本 佐登美（上之郷大教会長夫人）

・輝く生き方見つけよう
Key Person　フリーランス映像カメラマン　保山 耕一

・人生を彩る１冊をあなたに。
虹色のしおり　三濱 靖和（天理図書館主事）

明日につながる学生マガジン Happist 7

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。